

主な出来事

【内政】

- 4月9日、ルアンダ州の封鎖が5月10日まで延長された（当館注：4月29日に5月28日まで、5月に入り6月8日まで再延長の旨追加発表）。
- 4月29日、COVID-19の第2波の到来や感染対策の規則違反の増加などを受け、商業施設やレストランの営業時間が短縮されるなど、災害事態宣言下における措置が一部強化された。
- 政府は、クアンド・クバンゴ州及びクネネ州の地域住民の食料安全保障に脅威をもたらしているこう害に対処するため、こう害対策マルチセクター委員会を設立した。

【外交】

- 4月7日、8日の両日、スペインのサンチェス首相がアンゴラを公式訪問した。8日には首脳会談及びアンゴラ・西ビジネスフォーラムが実施された。
- 4月9日、オンライン方式で経済・科学技術・貿易協力に関するアンゴラ・ロシア政府間委員会会合が開催され、アンゴラ・露両政府は、二国間協定9件の署名に向けた協議を行った。
- 4月20日、ロウレンソ大統領のイニシアティブにより、当地で対面形式により第2回大湖地域国際会議（IGCLR）ミニ・サミットが開催された。
- 4月29日から30日、シャルル・ミシェル欧州理事会議長がアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領との会合の他、COVID-19 ワクチンの接種会場の視察などを実施した

【経済】

- 4月6日、ENIはロウレンソ大統領との会合において、15/06 鉱区の垂直深度4,100メートル地点に軽質原油の油田を発見した旨報告した。
- 4月30日、ムレンボス廃棄物埋立地のゴミ処理施設建設等にかかる限定入札が開始された。
- 工業・商務省は、ビジネス環境の改善のため、人間や動物への影響が少ない低リスク活動に関しては、営業許可の取得を免除する旨発表した。

内政

1. COVID-19 関連措置

(1) 4月9日、ルアンダ州の封鎖が5月10日まで延長された。また、アンゴラ人および外国居住者の再入国やアンゴラで職務にあたる外国人の入国等を例外とした条件を維持したまま、国境封鎖が維持された(4月9日付大統領令第82/21号)。

(2) 4月29日、COVID-19の第2波の到来や感染対策の規則違反の増加などを受け、商業施設やレストランの営業時間が短縮されるなど、災害事態宣言下における措置が一部強化された。また、ルアンダ州の封鎖が5月28日まで延長された（当館注：5月に入り6月8日まで再延長の旨追加発表）(4月28日付大統領令第106/21号)。

## 2. 感染状況

4月30日時点における国内の累計感染者数は26,652名（内、累計死者数596名、累計治癒者数23,876名）であった[\(GOV 5/1\)](#)。

## 3. 豪雨被害

4月19日、ルアンダ州において降雨継続時間延べ7時間の豪雨が発生し、14名が死亡、2名が負傷した。また、8,000世帯が浸水被害を受け、避難を余儀なくされた[\(AP 5/14\)](#)。

## 4. 大規模なゴミ清掃活動の実施

4月25日、ルアンダ市において、アンゴラ国軍の軍人400名及び市民ボランティアがゴミを回収する大規模な清掃活動が開始された。昨年11月にゴミ清掃業者への支払が困難になりルアンダ州政府が業者との委託契約を停止して以降、道路にゴミが散乱する状況が続いていた[\(JA 4/26\)](#)。

## 5. 学生による抗議デモの実施

4月17日、国立の高等教育機関における授業料の徴収開始（昼間部）や値上げ（夜間部）に反対する抗議デモが実施され、250名以上の学生が抗議デモに参加した。警察は、デモ隊を解散させるため、銃弾や催涙ガスを使用した[\(DW 4/17\)](#)。

## 6. サヴィンビ UNITA 元党首子息による大統領表敬

4月23日、サヴィンビ UNITA 元党首（創設者）の子息6名がロウレンソ大統領を表敬し、父親の遺骨の移送のために支援を行ったロウレンソ大統領に謝意を表明した[\(JA 4/24\)](#)。

## 7. 南部のサバクトビバッタ対策

(1) 政府は、クアンド・クバンゴ州及びクネネ州の地域住民の食料安全保障に脅威をもたらしているこう害に対処するため、大統領武官長、大統領府社会分野担当、内務省、国防・退役軍人省（アンゴラ国軍）、総務省、農業水産省、文化・観光・環境省による、こう害対策マルチセクター委員会を設立した[\(VA 4/13\)](#)。

(2) FAO はアンゴラ南部におけるサバクトビバッタの大量発生に対処するため、100万ドルを拠出する旨を発表した。その内、50万ドルは機器の購入、残り50万ドルは技術協力のために利用される[\(JA 4/29\)](#)。

## 8. 南部困窮世帯に対する支援の呼びかけ

4月20日、通信・情報技術・マスコミュニケーション省は、クアンド・クバンゴ州、クネネ州、ウイラ州、ナミベ州の困窮世帯を支援するため、市民から寄付金や支援物資を募る慈善活動を開始した。各メディアを通じ、3か月に渡り全国で支援を呼びかける見込み[\(AP 4/20\)](#)。

## 9. ルバンゴ地質研究所 (LGL) の開所

4月27日（アンゴラ人採掘者の日）、ウイラ州ルバンゴ市において、ルバンゴ地質研究所 (LGL) の開所式が開催され、ディアマンティーノ・アゼベド鉱物資源・石油・ガス大臣らが出席した。地質研究所には、水、土壌、石などを分析する複数の装置が整備されている[\(VA 4/26\)](#)。

## 外交

### 1. 丸橋大使の社会行動・家族・女性大臣表敬

4月8日、丸橋日本国大使はファウスティナ・デ・アルメイダ・アルヴェス社会行動・家族・女性大臣を表敬した。丸橋大使は、本年1月末、NGO 団体である APOPO の地雷除去活動を支援するため約25万ドルの草の根・人間の安全保障無償資金協力の署名を行った旨述べた。また、日本政府が引き続きアンゴラ政府を支援していく旨併せて述べた[\(AP 4/8\)](#)。

### 2. 日本・アンゴラ AU 代表部大使の会談

4月5日、堀内 AU 日本政府代表部大使はフランシスコ・ジョゼ・ダ・クルス AU アンゴラ政府代表部大使と会談を実施し、南部アフリカ開発共同体 (SADC)、中部アフリカ諸国経済共同体 (CEEAC)、テロ対策、海上安全保障、TICAD8 などに関する意見交換を行った[\(AP 4/5\)](#)。

### 3. 第13回日本国際漫画賞受賞表彰式の開催

4月29日、第13回日本国際漫画賞表彰式が本使公邸において実施され、Bomcomix社の漫画家ビメンテル氏らが作品「ディキシ-和解-第1部」でアンゴラ人初の受賞者となり、栄誉をたたえられた。表彰式では丸橋大使がアンゴラ人の入賞を祝すとともに、賞状授与後に参加者の間で日本文化に関する意見交換が行われた([AP 4/30](#))。

### 4. アンゴラ・露政府間委員会会合の開催

4月9日、オンライン方式で経済・科学技術・貿易協力に関するアンゴラ・ロシア政府間委員会会合が開催され、アンゴラ・露両政府は、二国間協定9件の署名に向けた協議を行った。原子力エネルギーの利用、宇宙空間の平和利用や宇宙関連研究、ダイヤモンドの採掘・研磨、商船、情報文化センターの運営、情報セキュリティ、司法共助、学位・資格の相互認定、アンゴラ通信・情報技術・マスコミュニケーション省と露情報技術・通信省間の通信・情報技術協力などに関する協力協定や合意文書への署名が見込まれている([AP 4/9](#))。

### 5. サンチェス・スペイン首相のアンゴラ訪問

(1) 4月7日、8日の両日、スペインのサンチェス首相がアンゴラを公式訪問した。8日には首脳会談に加え、アンゴラ・西ビジネスフォーラムが開催された。また、アンゴラ及び西は、農業、水産、空輸、工業分野における二国間協力強化のため、4件のMOUに署名した。空輸分野に関しては、ルアンダ・マドリッド間の定期便の再開が含まれる([GOV 4/8](#))。

(2) サンチェス首相は、会談において、ロウレンソ大統領のスペインの公式訪問につき言及し、ロウレンソ大統領は同招待を喜んで受け入れる旨述べた([AP 4/8](#))。

### 6. 第2回大湖地域国際会議ミニ・サミットの開催

4月20日、ロウレンソ大統領のイニシアティブにより、当地で対面形式により第2回大湖地域国際会議(ICGLR)ミニ・サミットが開催された。コンゴ

(共)、ルワンダ、中央アフリカから大統領が、スーダン、コンゴ(民)、カメルーンから大統領代理が出席し、中央アフリカの平和及び安定化に向けた地域内努力等に関する意見交換が行われた([GOV 4/20](#))。

### 7. 欧州理事会議長のアングラ訪問

4月29日から30日、シャルル・ミシェル欧州理事会議長がアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領との会合の他、COVID-19ワクチンの接種会場であるPaz Flor観光総合施設の視察などを実施した([GOV 4/30](#))。

### 8. アントニオ外相のフランス訪問

4月22日、アントニオ外相が仏を訪問し、ロウレンソ大統領からの書簡をマクロン大統領に手交した。アントニオ外相及びマクロン大統領は、COVID-19の影響、債務返済猶予イニシアティブ(DSSI)、中央アフリカ情勢などに関する意見交換を行った([JA 4/23](#))。

### 9. 大統領のコンゴ(共)大統領就任式参列

4月16日、ロウレンソ大統領は、ブラザビルを訪問し、サス・ンゲソ／コンゴ(共)大統領の就任式に参列した。ロウレンソ大統領の他、アナ大統領夫人、アントニオ外務大臣などが出席した([AP 4/16](#))。

### 10. アンゴラ・ナミビア国境関連

アンゴラ内務省及びナミビア内務・移民・安全保障省は、公安分野に関する二国間会議を実施し、不法越境などに関し協議した他、国境解放、ビザ免除プログラムの改定、在ナミビア／アンゴラ人の組織化などの可能性について意見交換を行った。また、両国の留置施設や矯正施設における協力強化のためMOUを締結した([AP 4/24](#))。

### 11. ザンビアまでの石油パイプラインの敷設

4月29日、アンゴラ鉱物資源・石油・ガス省及びザンビア・エネルギー省は、ロビト港からザンビアに石油・ガス関連製品を輸送するためのパイプラインの敷設に関するMOUを締結した([JA 4/29](#))。

## 12. オランダ政府による物流分野への融資

4月29日、アンゴラ運輸省及びオランダ外務省は、ベンゲラ州ロビト市における物流センター建設事業にかかる共同融資に関するMOUを締結した。オランダ政府は、同事業のために約6,000万ユーロを拠出する予定。物流センター建設によりロビト港を通じて農作物をヨーロッパに輸出する拠点となることが期待される([AP 4/30](#))。

## 13. ルアンダ・中国湖南省間直行便の運航開始

中国湖南省商務庁は、ルアンダ・湖南省長沙市間の直行便が2021年内に運航開始される旨発表した。同便の運航開始は、2020年に中国国務院で承認されたものの、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により遅れが生じていた。TAAGが同航路の運航を行う予定([VA 4/20](#))。

## 14. 世銀による女子支援

4月29日、世銀は女兒のエンパワーメント及び学習機会の損失(Learning Poverty)対策にかかる2.5億ドル規模の融資プロジェクトを承認した。女兒の就学率の向上、教育環境の改善、登下校時の安全確保、性と生殖の健康に関するサービスへのアクセスの向上などが狙い([WB 4/29](#))。

## 経済

### 1. ENIによる油田の発見

4月6日、ENIはロウレンソ大統領との会合において、15/06 鉱区の垂直深度4,100メートル地点に軽質原油の油田を発見した旨報告した。埋蔵量は2億から2.5億バレルと推定されている([OP 4/7](#))。

### 2. ソナンゴル保有プーマエナジー株の売却

ソナンゴルは、三者合意で、プーマエナジー株31.78%をトラフィギュラに約6億ドルで売却した。また、引き換えにソナンゴルはプーマエナジー保有資産の一部(ガソリンスタンド79軒など)を取得した([AP 4/16](#))。

## 3. 中国によるアンゴラからの原油輸入量の減少

2020年11月から2021年3月までの間、中国はイランから約55.7万バレル/日の原油を輸入した。中国によるイランからの原油輸入量は、2019年にトランプ前米国大統領により経済制裁が課される以前のレベルにまで回復している。一方、その影響で、ブラジル、アンゴラ、ロシアからの原油輸入量が減少している([RE 4/14](#))。

## 4. ゴミ処理にかかる限定入札の開始

4月30日、ムレンボス廃棄物埋立地のゴミ処理施設建設等にかかる限定入札が開始された。経済企画省が29日までに国内外企業から受け取ったLOI(関心表明書)は合計67件に上った([JA 4/30](#))。

## 5. 低リスク活動の営業許可取得の免除

工業・商務省は、ビジネス環境の改善のため、人間や動物への影響が少ない低リスク活動に関しては、営業許可の取得を免除する旨発表した。食品、植物、家畜、家禽、魚介、医薬品、自動車、燃料、潤滑剤、化学物質などに関連する活動は、引き続き営業許可の取得が義務付けられる([JA 4/14](#))。

## 6. 起業家アカデミーの開設

4月29日、ルアンダ市タラトナ地区において起業家アカデミーが開設された。若者を対象に、デザイナー、縫製、ケータリング、調理、食品製造、エンターテイメント、イベント運営、美容、情報技術などの分野のコースが提供される予定。定員は250名([AP 4/29](#))。

## 7. 中国企業でのインターンシップ制度の導入

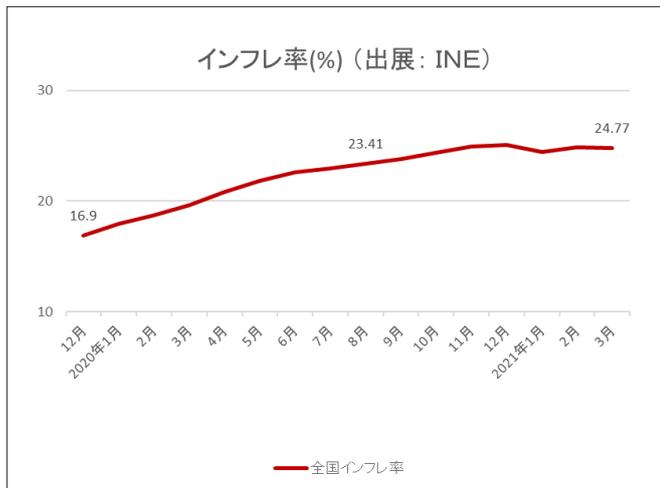
4月19日、雇用職業訓練機構(INEFOP)及び中国企業会は、リナ／ルアンダ州知事及びゴン・タオ当地中国大使の立ち会いのもと、中国企業によるインターンシップの導入に関する協定に仮調印した。アンゴラで事業を展開する中国企業において、職業訓練、中等・高等教育等を修了した数百名のアンゴラ人の若者(18~25歳)を対象に、有給のインターンの受け入れが開始される見込み([JA 4/20](#))。

## 【主要経済指標】

### 1. 物価

国家統計院（INE）が発表したアンゴラ全国版の3月期年間インフレ率は、24.77%。月間物価上昇率は1.78%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料（1.27%）、住宅、水、電気、燃料（0.06%）、保健（0.07%）、家具、家財、メンテナンス（0.07%）、モノ・サービス（0.12%）。



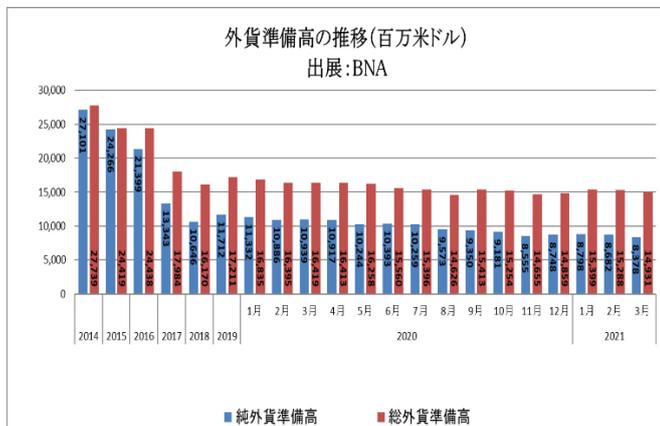
### 2. 金利

金融政策委員会（CPM）は開催されず。

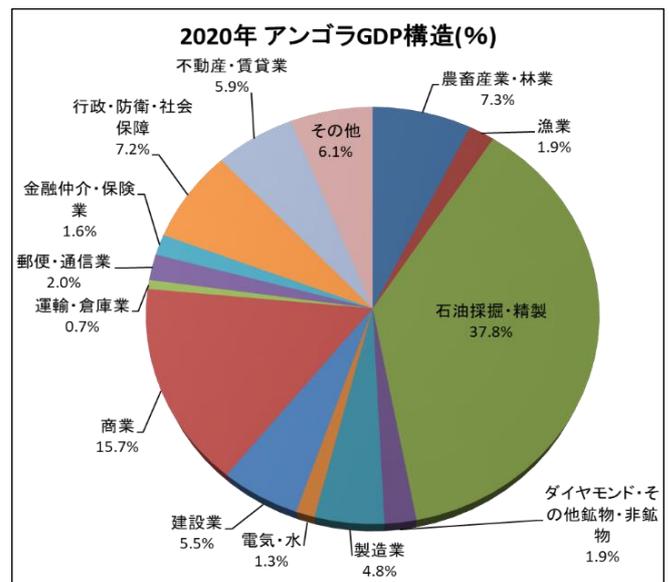
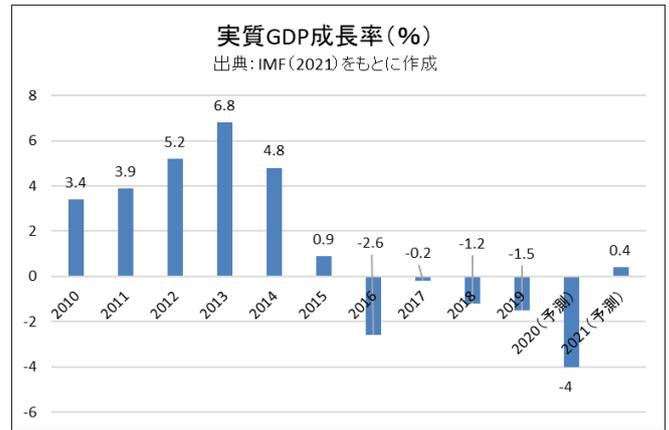
### 3. 為替市場

4月30日、為替相場は1USD=652.013AKZで推移。

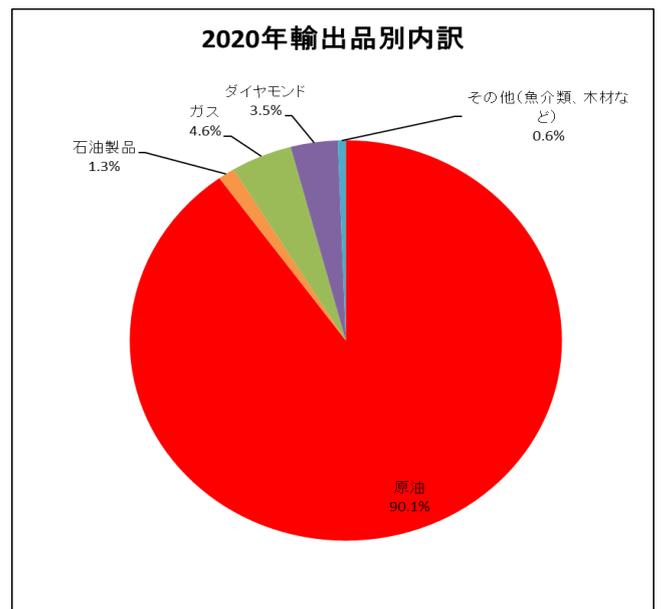
### 4. BNA 発表の外貨準備高統計



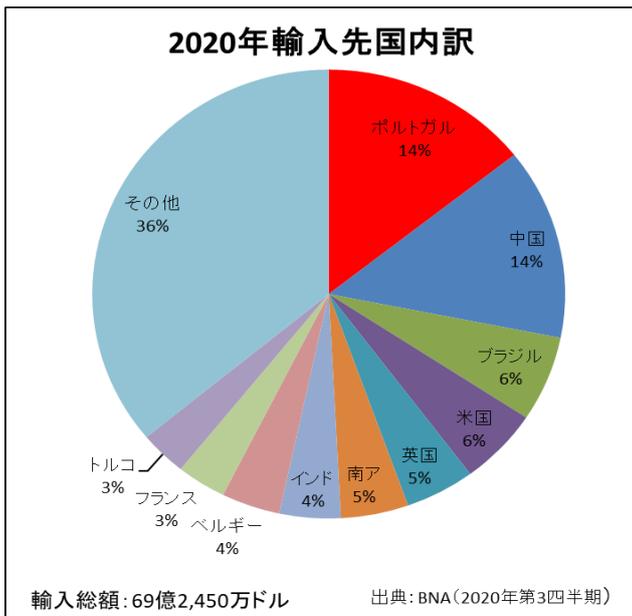
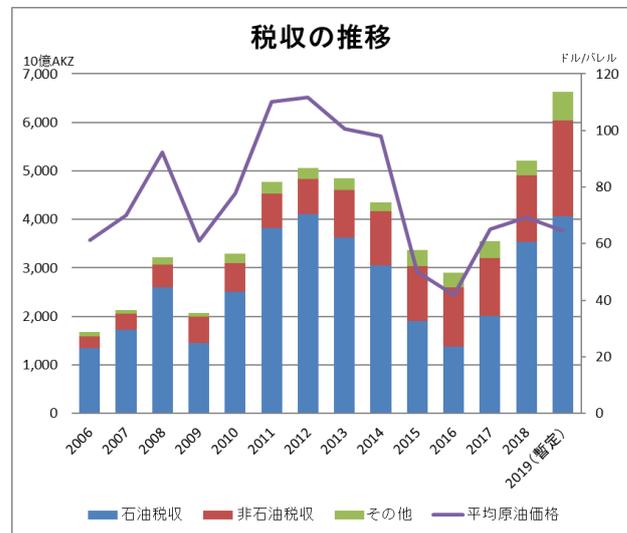
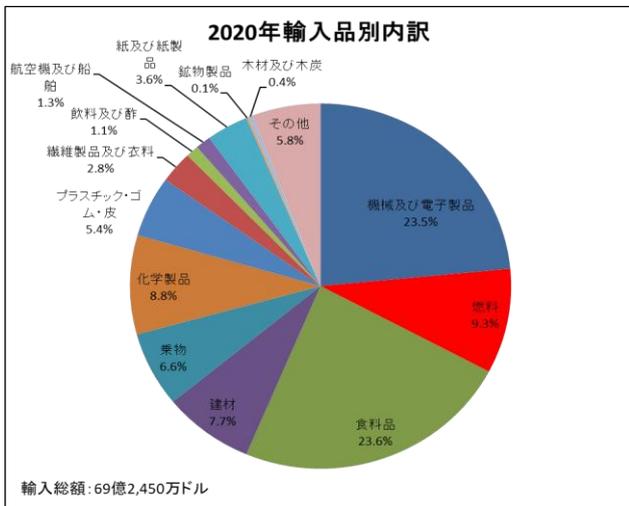
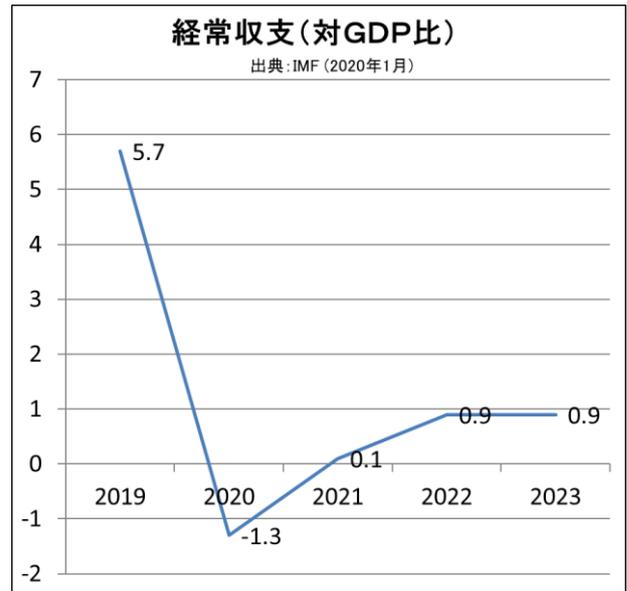
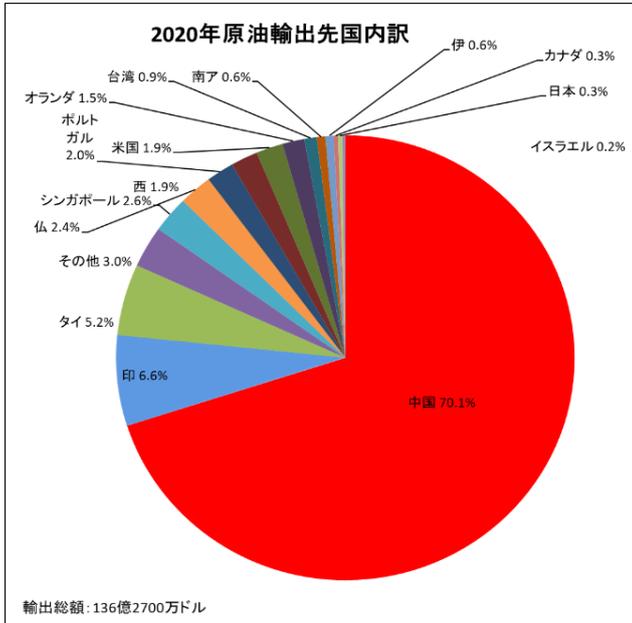
## 5. GDP及び成長率



## 6. 主要貿易統計



## 7. 財政主要統計



---

BB: Bloomberg, CK: Club-K, CRK: Correio Kianda, DN: Diario de Noticias, DV: Dinheiro Vivo, DW: Deutsche Welle, EG: E-Global, EIU: Economist Intelligence Unit, EN: Euro News, EX: Expansão, EXP: Expresso, FT: Financial Times, FM: Forum Macao, GOV: Government' s Official Portal, JA: Jornal de Angola, JN: Jornal de Negocios, LS: Lusa, ME: Mercado, MH:Macau Hub, MR: Mining Review, MW: Mining Weekly, NAM: Noticias ao Minuto, NJ: Novo Jornal, OBS: Observador, OP: O País, PA: Portal de Angola, PB: Publico, RE: Reuters, RFI: Radio France Internationale, TPA: Televisão Pública de Angola, VA: Ver Angola, VE: Valor Económico, VG: Vanguarda, VOA: Voice of America, WB: World Bank, WSJ: Wall Street Journal, XN: Xinhua Net